平成 31 年・令和元年（2019 年）の羅臼岳の火山活動

札　幌　管　区　気　象　台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報の状況、2019年の発表履歴

2019 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）

○2019年の活動概況

・火口や噴気の状況（図１～２）

７月 29 日に上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）を実施しました。一部に雲がかかっていましたが、確認できる範囲で噴気等の異常は認められず、前回の観測（2018 年７月）と比べて特段の変化はありませんでした。

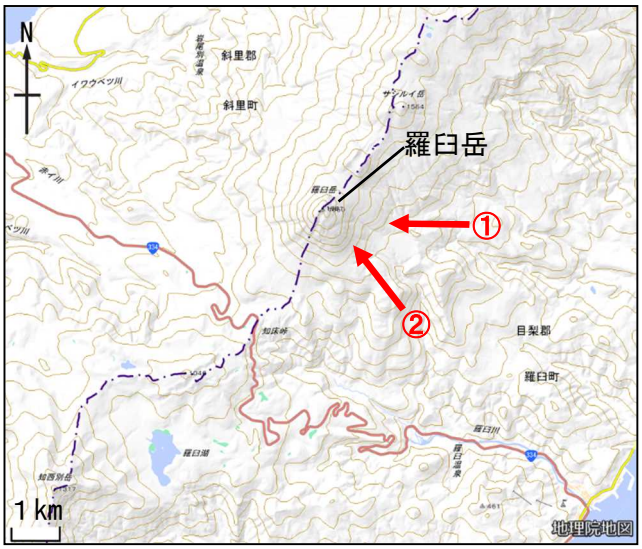

図１　羅臼岳　周辺図と写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(https://www.jma-net.go.jp/sapporo/)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号　平 29 情複、第 958 号）。

図２　羅臼岳　南東側斜面の状況
上段：東側（図１の①）から撮影
下段：南東側（図１の②）から撮影

・噴気は認められず、前回の観測（2018 年７月）と比べて特段の変化はありませんでした。